



Dominique Bouhours
Vie de S. François Xavier, Apôtre des Indes et du Japon
Lyon, Paris, 1834
ドミニク・ブウール著
『聖ザビエル伝』

1549年(天文18年)鹿児島に来航し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師、フランシスコ・ザビエル (Francisco Xavier, 1506-1552) の伝記。

著者のドミニク・ブウール(Dominique Bouhours, 1628-1702)はフランスのイエズス会士。宗教のほか、文学、文法、評論等の分野に著作を残した。

この伝記は6章で構成され、ザビエルの少年時代から、イエズス会の創立、インドでの布教、マラッカでの日本人との出会い、日本での布教、中国への旅の途中その生涯を閉じるまでが描かれている。

1682年パリで初版が発行されて以降、本書は19世紀半ばまでに数十回もの版を重ね、他の言語へも翻訳された。展示資料は1834年に出版されたもの。本文はフランス語。全2巻。